



小関 由紀子さん  
山形県銀山温泉  
仙峡の宿銀山荘

## 懐かしさと安らぎの郷

は、数世紀を経て、現在は、昭和58年のNHK在癒しと安らぎを求め朝の連続テレビ小説「おしん」がきっかけです。その後新幹線の整備などにより泊圏名の通り石見・生野と並んで三大銀山といわれた延沢銀山があり、客が増えています。お客様方は「まるで時代初期、銀山が盛んなころに発見されたといわれています。廃坑となつた後は湯治場として営業してきました。この温泉が全国に知られるようになったのは、昭和9年に持が進み、平成9年には、公共下水道・給湯管・電線を同時に地中化しました。現在は、車両制限時間を設け、ゆつたりと家並みを眺めながら歩くことができます。

また、昨年より大正ロマンの衣装貸出を始めました。NHKで今放映中の「ごちそうさん」のような雰囲気になります。衣装貸出は春から秋までの営業ですが、希望の方には冬期間もお泊まりの旅館へお届けします。銀山温泉では毎年「山菜まつり」「すいかまつり」「きのこまつり」が行われ、今年は大正ロマンの衣装で雰囲気盛り上げました。

いよいよ、来年はDCキャンペーンを迎えます。県では「朝ごはんプロジェクト」を立ち上げ、銀山では「おしんめし」を開発し、今年から朝食に提供しています。また同時に「おしんめしのもと」も販売しています。本番に向けて頑張っています。

○

今回は、茨城県・江戸屋の吉岡鞠子女将さまにバトンをお渡しいたします。

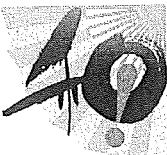
山形県、仙峡の宿銀山荘（14代目）の小関でございませう。

銀山温泉は、銀山川を挟んで3〜4層の木造旅館が軒を連ね江戸時代から代々続いています。ほのかにともる

ガス灯は温かく柔らかく温泉街を彩ってくれています。かつて、銀を求めて栄えたこの地

多くの鉱夫が働いていました。温泉は江戸時代初期、銀山が盛んなころに発見されたといわれています。廃坑となつた後は湯治場として営業してきました。

この温泉が全国に知られるようになったのは、明治・大正・昭和・平成と少しずつ変化



をもつてJKKK  
全旅連・女性経営者の会  
ソレーコラム  
Vol.58